

2018

# 同友しずおか7

VOL.476

私の逸品

(株)山春建設

(沼津支部)

住む人の暮らしに笑顔を



静岡県中小企業家同友会



# 同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



## 中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。



## 同友会3つの目的

1

### よい会社を作ろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2

### よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3

### よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも連携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。



## 平成30年度 重点課題

- I. 経営指針成文化の環境整備を進め、労使見解に基づく人を生かす経営の実践企業を増やします
- II. 中小企業振興基本条例運動を推進し、県・市町の行政・金融・関係機関との連携を強化し地域づくりをめざします
- III. 2020年ビジョン3年目にあたり、早期に1200名会員を達成し、支部のさらなる活性をはかります

## 新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1082名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
ひらた みのる 平田 稔	(有)ユアスタイル IT・通信、デザイン業 (ドメイン取得代行、レンタルサーバー代理店、ホームページデザイン)	伊東	守谷 匡司
いいの たかし 飯野 孝志	(株)アイティエス 情報システム及びサービス (FAシステムの企画/製作/保守 建設業向けICT機器の販売/技術サービス OA機器の販売/保守/ネットワーク設計/施行等の保守パックの販売 電子機器の修理)	三島	梶山 康行
にしだ たつや 西田 竜也	幸栄 清掃、ビルメンテナンス業 (各種清掃、メンテナンス全般)	沼津	松田 一哉
にしかわ りゅうじ 西川 竜司	セレクトパートナーズ(株) 障害福祉サービス (障害のある方に就職を支援する就労移行支援事業所)	富士	望月 勝代
いで まさたか 井出 正尊	(株)富士ペインテックス 塗装業 (一般建築塗装 (住宅、鉄骨、防水) 特殊塗装 (家具リメイク、モルタル造形、エイジング))	富士宮	朝日 康典
えんどう たかゆき 遠藤 隆行	医療法人社団 駿河会 するが歯科 歯科医院 (歯科)	富士宮	宇佐美健介
のぶざわ かずよし 信澤 和良	(株)オートサービス信澤 自動車修理買取販売 (重機・トラック買取)	富士宮	朝日 康典
いとう ともゆき 伊藤 知行	大和建设(株) 総合建設業 (土木工事、建築工事、不動産)	静岡	浅原 聡子
さくらい のりひさ 櫻井 敬久	(株)小桜建設工業 総合建設業 (大型の工場や倉庫から住宅や店舗など、あらゆる規模の建築の設計・施工、お客様のニーズに合わせ事業用地の紹介及び土地活用プランを提案)	志太	松葉 秀介

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

私の逸品

## 住む人の暮らしに笑顔を

(株)山春建設 (沼津支部)

代表取締役 山田 高士氏

地元密着の工務店

(株)山春建設は、明治生まれの山田久太郎氏が沼津市馬込で大工として独立し昭和5年に創業した、長い歴史を持つ会社です。現在は住宅専門の地元密着工務店として、リピーターや紹介のあるお客様からの受注が多く、新築からリフォームまで、様々な希望に柔軟に対応し実績を重ねてきています。4代目経営者である山田高士氏は「家造りは、完成してからお客様との本当のお付き合いが始まる」と、お客

### 地元密着の工務店



山田高士氏

様との関係づくりの大切さを話してくれました。

### 同友会入会による変化

山田氏が代表になり1年も満たない頃、同友会会員から仕事の依頼を受けました。そこで同友会に誘われ、「経営者としての学びとは何か？」という思いから入会を決意しました。入会して約1年が経過し、多くの経営者の方と対話することにより、改めてお客様への対応や経営者としての姿勢を学び、実践しているとのこと。また、新しい試みとして、年末に自社ショールームでハンドベルコンサートを開催するなど、地域の人々に



自然素材の温もりを生かした隠れ家的空間

家づくりを通じて、笑顔が絶えない暮らしを実現

山田氏は「住宅を建てることで、『住む人の暮らしに笑顔を生み出す』ことができる会社でありたい」と語ります。ほんのお客様にとって家を建てることは一生に何度もあることではありません。そんな家づくりの仕事を通して、お客様の人生に関わる喜びを感じていると話してくれた山田氏。「国の定める基準に全棟適合した上で、快適な住環境の家をつくること、また大規模な地震が想定される



家族の笑顔が見渡せるキッチン・リビング

楽しんでもらえるようなイベントも行っています。

中、高い耐震性を備えた家造りにこだわり、お客様の声を十分聞くことを常に心がけています。安心安全な住宅、住む人の笑顔が絶えない暮らしの形を実現する地元工務店として、トップランナーを目指しています」と力強く語ってくれました。(株)山春建設の、地域で輝く中小企業としての活躍がいつそう期待できると確信しました。

記事・取材 大場 豪文氏

取材 楠 雅彦氏

(株)文豪社

沼津支部

(有)山津精機 沼津支部

### 株式会社 山春建設

〒410-0842 沼津市蛇松町30-5

TEL : 055-963-1918

HP : <http://www.yamaharu-k.com>

創業 1930年

社員数 3名

入会年月 平成29年4月

事業内容 住宅建築専門 設計施工(新築・リフォーム)

最新の断熱・省エネ基準を超える家造りが標準



国民的ファーストフードたこ焼に、とびつきりの笑顔を

合同会社 岡村商店  
代表社員 岡村 武典氏（御殿場支部）



岡村武典氏（右から3人目）

社員から経営者へ

足柄の下り方面サービスエリアでたこ焼屋「くくる」とお芋のスイーツを扱う「らぼっぼ」を経営する岡村武典氏取材しました。らぼっぼ、くくるは共に、大阪府守口市に本社を置く「白ハト食品工業(株)」のブランドです。岡村氏は同社とフランチャイズ契約を交わし、事業を行っています。実は岡村氏、元々は同社の社員であり、「くくる」東京営業所で統括マネージャーを務めていました。そんな折、足柄サービスエリアに新店舗を開くことになり、岡村氏は立ち上げの全てに携わりました。その中で、入社当初から心の内にあった独立したいという気持ちが膨らみ、公私ともにタイミングが合ったこともあり、岡村氏は独立を果たしました。

ギャップに戸惑う中で、同友会と出会う

技術的なことについては白ハト食品工業(株)で習得した岡村氏ですが、御殿場市や小山町の食材を使った商品を創りたいと考え、独自商品の開発についても同社に許可をもらいました。そして、スタッフと意見を出し合った末に生まれたのが「御殿場味噌たこ焼」です。これは、御殿場市の天野醤油(株)（会員…天野栄太郎氏・御殿場支部）の味噌を使ったもので、他の店舗では扱って



お芋のスイーツを扱う「らぼっぼ」

いません。今後は御殿場市内で開催されるイベントにも積極的に出店し、地元食材を使ったこのオリジナルたこ焼をPRしていきたいと考えています。

岡村氏と同友会との出会いは、足柄サービスエリアで偶然知り合った会員に誘われたことがきっかけでした。地元が御殿場ではなく知り合いがいなかった岡村氏は、コミュニケーションのとれる場を求めていました。また、ずっと社員として働いてきたため、自ら経営するとなると勝手が全然違う、と痛感している矢先でもありません。会社を続けていくならば、自分の考え方も変えていかなければならない、と考えていた折に参加した例会が非常に勉強になり、入会を決めたそうです。

地元の食材を使って新たな商品開発に取り組み

今後の展望について尋ねると

合同会社 岡村商店

東名高速道路 足柄サービスエリア下り線内  
TEL：0550-82-3633

創業 2011年12月  
社員数 パート・アルバイト15名  
入会年月 2016年11月  
事業内容 たこ焼き・お芋スイーツ製造販売

- 取材 御殿場支部 組織広報委員会
- 取材・記事 米原 誠氏
- 取材・撮影 勝岡田 誠氏
- 取材 岩淵 貴司氏 (株)文化堂・御殿場支部
- 取材 (株)KTS(ケーティス)
- 取材 鈴木 翔也氏 THE GOTENBAKAN・御殿場支部
- 取材 片野 貴一郎氏 (株)トップ・御殿場支部
- 取材 (株)エフ・クリエーション・御殿場支部



会員訪問記

人材育成で組織を元気にする！

(有)キャリア・アップ  
代表取締役 須山 由佳子氏 (浜松支部)



須山由佳子氏 (右)

見えにくい教育サービスの成果を可視化

浜松市で人材育成のサポートを行う(有)キャリア・アップ。須山由佳子氏が起業したのは、経歴の中でスタップ研修に携わったことがきっかけでした。地元企業に勤めていた頃、教育トレーナーとして研修を担当したことから、「人材育成」という自分の可能性を実感します。その後、中小企業を対象とした経営コンサルタント会社への勤務を経て、1994年に同社を設立しました。

当初須山氏は、人材育成という商材に苦慮しました。セミナーを開催するとその場では「研修をして良かった」と多くの感想をもらうのですが、教育サービスの成果はなかなか目に見えるものではありません。また、業界内では、受講生が研修で学んでもその内容を社内で生かし切れない、というケースも散見されていました。転職機が訪れたのは、経営指針を創る会への参加でした。メンバーから「研修の成果が本来にあるのが見えない」と指摘を受けて奮起し、研修参加者の主体性や社内での人間関係など様々な項目を独自に数値化し、研修の成果を可視化。また研修内容も、参加者が現場でどのように実践するか、実践後にど

うなったかを調査する独自の「成果の見える研修」を創り上げました。

経営指針が社員との思いの共有に繋がる

社員との関わりの中で、最初は社員に歩み寄ろうと積極的に意見を求めていた須山氏。しかしその想いとは裏腹に「指示をしてくれない頼りない上司」と捉えられていました。これではいけない、と自分の考えや方向性を伝えるようにした結果、社員の自ら考える力が育っていきました。同社では経営理念の中で「社員はわが社のパートナーであり、『共に創り上げる精神』で知恵やアイデアを形に変えることを目指します」と掲げています。顧客に応じたオリジナルの「人材育成」はマニュアルの枠に収まりきらないため、それを社員にどう教えていくか課題が多いですが、経営指針を創り社員と共有することでベクトル合わせを進めています。

組織を元気に、そしてその「輪」を広げる

企業が人材育成の研修を導入したいと思っても、実際にはお金も時間もかかります。そこで須山氏

は、もっと簡単に社員・組織の元気と可能性を引き出すきっかけとなるものはないかと考えました。そして静岡大学と共同研究で開発したのが、組織の「健康状態」を数値化した診断ソフトです。今後はこのソフトを広く使ってもらえるように取り組みたい、とのこと。また、「成果の見える研修」は顧客ごとに異なる研修プログラムであり、様々なジャンルの講師との連携で成り立っています。そのため、須山氏と志を共有できる講師の繋がりを増やし、組織を元気にする輪を広げていきたい、と話してくれました。

取材・記事 楠林 壯太氏  
(塗り物アートかがや・浜松支部)

(有)キャリア・アップ

〒435-0053 浜松市東区上新屋町228-2  
TEL : 053-411-6858  
HP : http://www.career-up.co.jp

設立 1994年  
社員数 正規1名 パート1名  
入会年月 2011年1月  
事業内容 管理者、マネジメント研修、  
報連相研修、新人教育、組織活性化の為  
のコンサルティング

# 中小企業憲章・条例推進月間

2018中小企業憲章・条例推進月間キックオフ会議

6月5日(火) 憲政記念館



今野 英明氏

中小企業家同友会全国協議会(以下、中同協)は6月5日、憲政記念館(東京都千代田区)で「2018中小企業憲章・条例推進月間キックオフ会議」を開催し、38同友会・中同協から176名が参加、静岡からは3名が参加しました。また、25名の国会議員、14名の秘書(代理)にご参加頂き、静岡からは城内実議員(衆・自民)にお越し頂きました。

第一部では広浜泰久中同協会長、稲津久氏(衆議院経済産業委員長)の挨拶の後、安藤久佳氏(中小企業庁長官)が中小企業の生産性向上・事業承継に関する施策を紹介。続いて中小企業4団体から、それぞれの重点的な取り組みや課題などを報告。その後、各県の中小企業振興基本条例制定とその後の運用について、今野英明氏(静岡同友会・政策委員長)、穂坂勝彦氏(同・政策副委員長)、中同協憲章条例推進本部委員、堀弘道氏(福岡同友会・田川支部長)より報告があり、参加者からは非常に参考になったと多くの感想がありました。

第二部では衆参両院の国会議員から、国の施策に触れながら中小企業憲章の国会決議、「中小企業の日」の制定に向けた発言などがありました。最後に中山英敬中同協幹事長の挨拶をもって閉会となりました。詳細は中小企業家しんぶん(6/25号)に記載されていますのでぜひ一読ください。

中小企業憲章・中小企業振興基本条例学習会

～中小企業振興基本条例制定後の富士宮市における事例報告～

6月23日(土) ペガサート 参加59名

今回で7回目となる条例学習会が開催され、財務省東海財務局静岡財務事務所をはじめ、御殿場市、三島市、沼津市、富士宮市、静岡市、牧之原市の行政担当や市議会議員、御前崎市商工会、大学、関係機関から15名を含む59名が参加しました。前半のパネルディスカッションでは、パネリストに篠原晃信氏(富士宮市企画部企画戦略課 課長)、佐野龍貴氏(富士宮市企画部地域政策推進室 主事)、宇佐美健介氏(㈲エージェントうさみ・富士宮支部)、稲原研氏(松屋電気商会・富士宮支部)、コーディネーターに穂坂勝彦氏(富士宮清掃㈱・富士宮支部)が登場。理念条例の重要性や、悉皆調査による市内中小企業の現状の把握、その結果を根拠に懇話会のメンバーが積極的に意見を交わしている現状を報告しました。後半のグループ討論では、条例の制定とその後の運用において、一人ひとりが地域振興の主体者と自覚し取り組むことの重要性について語りあいました。

最後に、懇話会座長を務める河原崎信幸氏(シンコーラミ工業㈱・静岡同友会相談役)は総括の中で「条例制定後の懇話会では、経済を発展させる施策を検討する場と認識することが重要」と強調。今後の富士宮市の条例運用について紹介し、閉会しました。



## 第21回女性経営者全国交流会 in 埼玉

静岡同友会から5名が参加!

6月21日(木)～22日(金)

「誰もが輝く社会の創造 私たちが次の時代を拓く力になる」をテーマに、全国から約900名が埼玉に集結し、2日間にわたって学び合いました。

1日目は「経営者の自己変革」や「経営指針の実践」などをテーマに8分科会に分かれて学びを深めました。2日目に行われた全体会の記念講演では、埼玉同友会代表理事の久賀きよ江氏(㈱メガネマーケット)が登場。市場の変化に対して自社の経営理念を再考し、隣接異業種である補聴器を扱ったことや、ビジョンの実現に向けて社員と共に変革に挑戦した経験を報告しました。最後に糸数久美子・中同協女性部連絡会代表は、まとめの中で代表としての活動を振り返り「同友会からの依頼には『イエスカハイ、喜んで』と引き受けて自己革新を」と述べました。

静岡同友会の参加者からは分科会や記念講演について「付加価値を上げ、選ばれる会社になりたい。自社にとって隣接異業種とは何かを考え、きつかけになった」などの感想がありました。



まとめの報告をする糸数久美子氏

同友会は「国の中小企業団体も連携して、中堅企業を育て、社会・経済・政治的な課題を改善し、中小企業の経営を安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。」



# 富士・富士宮合同例会

## 経営指針の成文化と経営実践

～同友会らしい経営にチャレンジして～

6月11日(月) 富士宮駅前交流センター「きらら」 参加120名

### (株)エステム

名古屋市中区弥次工町2-19-1

設立 1970年

社員数 419名

事業内容 水処理プラント設計・施工・メンテナンス・水処理施設保全工事

水質分析・環境装置・機器販売



鋤柄 修氏

例年、富士・富士宮地域の経営者が一堂に会し、県内外の講師から学び、会員相互の交流を深め合う、富士・富士宮合同例会。今年度は富士宮支部の設営で開催され、講師に鋤柄修氏(株)エステム 名誉会長・中同協 相談役幹事/愛知中小企業家同友会)をお招きし、総勢120名が参加しました。鋤柄氏は(株)エステム(旧総合施設サービス)に1971年に入社しました。1970年に社員5名から始まった同社は、79年には約40名まで成長。しかしその翌年、良かれと思って社内で実施したことがきっかけで、労働組合が発足。鋤柄氏は社員と経営目標を共有できていなかったことを痛感しました。経営者として一層の勉強が必要と感じる中、



全体の様子

### 参加者感想

鋤柄氏のお話を伺うのは初めてでしたが、労使見解や同友会と自社経営の関係といった難しくながちな話も軽快に判りやすく、時には笑いも誘いながら、参加者それぞれ置かれた立場で気付きを得られるお話だったと感じます。また、鋤柄氏が経営者として実践してきた経営指針に基づく経営のお話では「後継者を作ってはじめて一人前」「自社に自信を持てる社員作りが経営者の仕事」「経営が指針とずれていないかをいつも確認する」など、その経験に裏打ちされた言葉に、非常によい刺激を受けました。

弊社は「輝く人財づくり」を経営理念としています。自社の社員を「人財」として育てる中で、いかに自社に誇りを持たせるか、またその経験を通じて他社の「人財づくり」にどのように携わっていくかを考えていかなければいけないことを、この例会を通じて再確認できました。また、そのためにもいかに「人財づくり」という理念からずれない経営をしていくかが、今後の重要な軸となることも再認識しました。「同友会では師匠とライバルを見つかるべき」というお話もあり、私自身もそうした会員を見つけ、またそのような存在を目指していきたいと思えます。

中村 仁氏

(社会保険労務士法人シャイン・富士宮支部)

# 7月・8月

## DOYU CALENDAR

7月16日(月)～8月15日(水)

7月 17日(火)	浜松例会 (19:00 ザザシティ中央館) 御殿場役員会 (19:00 エピ・スクエア)
18日(水)	志太例会 (県障がい者問題委員会合同開催) (19:00 島田信用金庫 七丁目支店) 伊東例会 (19:00 伊東市健康福祉センター) イントロセミナー in 沼津 (19:00 沼津商工会議所)
19日(木)	富士例会 (19:00 ロゼシアター) 中遠例会 (19:00 ワークピア磐田) 榛原例会 (19:00 さざんか)
20日(金)	県組織増強委員会 (19:00 同友会事務局) 県政策委員会 (納涼会) (19:00)
21日(土)	新静岡支部設立10周年記念式典 (18:00 ホテルセンチュリー静岡)
23日(月)	三島例会 (19:00 三島商工会議所) 経営指針を創る会④ (19:00 同友会事務局)
24日(火)	県共同求人委員会 (19:00 同友会事務局)
25日(水)	県理事会 (17:00 同友会事務局)

27日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私」 (19:00 同友会事務局)
28日(土)	静岡共学ゼミ (14:00 かまくら文庫)
30日(月)	榛原特別例会 (19:00 さざんか)
31日(火)	県例会企画委員会 (19:00 同友会事務局)

8月 2日(木)	県総務財務委員会 (16:00 同友会事務局)
3日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川) 志太納涼例会 (19:00)
6日(月)	正副代表理事会 (17:00 同友会事務局)
7日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート)
8日(水)	御殿場例会 (19:00 エピ・スクエア)
9日(木)	静岡県経済産業部との意見交換会 (15:00 同友会事務局) 県共育委員会 (19:00 同友会事務局)
10日(金)	経営指針を創る会⑤ (19:00 同友会事務局)

《あなたのスケジュールノートに必要な事項をご記入ください》

### 静岡県中小企業家同友会青年部主催 静岡例会

## 全国の青年経営者が静岡に集結!!

6月14日(木) ペガサート 参加190名

同日に静岡市内で開催された中同協青年部連絡会に、全国各地から青年経営者が集結。これをよい機会と捉え、静岡同友会青年部主催で「青年部活動と企業経営を不離一体として」をテーマに例会を開催しました。当日は目標の150名を大きく超える経営者が参加し、パネルディスカッションとグループ討論を行いました。パネリストとして岩山佳代氏(株大喜工務店・愛知同友会)、宮田淳誠氏(衣裳館クレイドル・石川同友会)、村田隆行氏(株マスターピース・福井同友会)、小松寛氏(有ヤマカ水産・静岡同友会)の4名と、コーディネーターとして石川祐輔氏(株カナマル・愛知同友会)が登壇。自身と自社の歩みと同友会での活動の関係性を記した「不離一体シート」を基に、それぞれが主体者として同友会や青年部活動にどのように関わり、そこで得た学びを自社経営にどう生かしてきたのかを報告しました。小松氏は「経営指針を創る会に参加した際に、本当の意味でのライバルに出会えた。同世代だからこそ、同じ境遇だからこそ切磋琢磨し合えることに青年部活動の魅力がある」と話しました。



グループ討論では、本音で語り合える同友会の仲間の大切さを再確認するとともに、中小企業家が地域社会の担い手であることを自覚し、それぞれが主体者として地域と自社の未来にどのように向き合い行動していくのか、意見を交わしました。40分という短い討論時間でしたが、県や世代の垣根を越え「自身はどうあるべきか。そのために何をするのか」を自問自答する濃い学びの場となりました。

### 青年部会長より



座長として企画・設営の段階から関わる中で、青年部活動の良さや切磋琢磨する意義など色々と考えさせられ、多くの学びと気づきを得ることができました。集客の面では自分が率先して行動することで、青年部の仲間も共に動いてくれました。その結果、会場の規模を上回る参加者を集めることができ、巻き込み方という点でも非常に勉強になりました。当日の参加者からは「青年部の活動をもっと頑張りたい」「仲間と切磋琢磨したい」「もっと自分を変えたい」等の感想をいただき、本当にやって良かったと思いました。今後も青年部を盛り上げ、切磋琢磨できる仲間を増やし、自分と会社と地域、そして未来を変えるために行動していきたいと思えます。

塚本 和成氏 (有塚本商店・静岡同友会青年部会長・志太支部)

 **静岡同友会**  
Facebookページ 

静岡同友会Facebookページで、会員企業訪問の様子や各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください!

発行所: 静岡県中小企業家同友会 doyu@szdoyu.gr.jp / 編集者: 県広報情報化委員会

〒420-0857 静岡市葵区御幸町8 静岡三菱ビル6階 TEL: 054-253-6130(代表) FAX: 054-255-7620 <http://www.szdoyu.gr.jp>